

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	中国語第一（再履）		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鷲巣 益美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
専任教員に問い合わせてください	なし

【主題および達成目標】
中国語の基礎を一からやり直す。まずは四つの声調の区別及びピンインの読み書きから始め、基本文法を理解し平易な文の読み書きができるようにする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
『標準中国語 基礎編』（CDつき）上野恵司著 白帝社

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- ・中国語のリズムをつかむため、音読を重視する。授業中に本文ぐらいは覚えてしまうぐらいの心構えで授業を受けてもらいたい。
- ・一回の授業で一課を終える。
- ・具体的には、本文の音読 本文の解説 ふたたび本文の音読 ポイントの音読 ポイントの解説 ポイントの和訳（学生を指名して訳させる） ふたたびポイントの音読 練習問題（学生を指名し黒板に書かせる）、という手順で進める。時間に余裕があるときは、聞き取り練習をする。
- ・発音を終えた後で一回、以後4～5課終えるごとに試験を実施する予定。試験をする場合は、遅くとも二週間前までに授業中に伝達するので注意すること。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

- ・予習：CDを聞きテキストの内容に目を通し、本文と例文の意味を考えてみる。余裕があれば練習問題を解いてみる。
- ・復習：聞く・読む・書く、という手段を駆使してテキストの内容の暗記に務める。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- ・全授業回数の三分の二以上出席し試験を受けた者を評価の対象とする。
- ・遅刻を三回したら欠席一回に換算する。
- ・授業中に実施した試験と期末試験の総合得点によって評価を下す。原則として、最低限六割得点していれば単位を得ることができる。
- ・出席状況が良好な者は、これも加味する。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜の昼休みに非常勤講師室（本部棟一階）へ来てください。

【学生へのメッセージ】

- ・素直にテキストを暗記してください。自己流にこねくり回さないこと！
- ・ピンインを覚えることは基礎中の基礎です。
- ・中国語の初級文法のポイントは、正しい語順（品詞をどの順序で並べるか）を覚えることです。リスニングが苦手な人は、簡体字と語順を正確に覚えることからやり直してください。

【その他】

特になし